令和８年度　第３回金沢市ＤＸ会議　発言要旨

【日時】令和８年 10 月 22 日（木）13:30～15:00
【場所】金沢市役所第一本庁舎　405 会議室

○報告事項１　デジタル行政推進リーダーの活動について

※事務局より報告

○報告事項２　AI の活用状況について

※事務局より報告

○議題　委員提言

●宮内委員
・AI 活用の段階から、AI エージェントを活用する AI 駆動型行政への発展を目指すべき
・認証や監査機能を含む、安全な基盤整備を進め、金沢型モデルの構築を検討してはどうか

●浦田委員
・利用件数だけでなく、成果や属性別利用状況を把握できる評価指標を導入すべき。
・AI に伝わりやすいホームページ整備や継続的なデジタルデバイド対策も重要である

●中沢委員
・市職員と学生が行政課題の解決に取り組む、生成 AI ハッカソンを開催してはどうか
・生成 AI ハッカソンを継続的な産学官連携の仕組みとして発展させていきたい

●野田委員
・市民に届くように成果を明確にし、小さな成功事例を積み重ねながら DX を進めるべき
・データ基盤整備と将来像の共有も重要である

●福島委員
・AI 時代を見据え、オープンデータの拡充、メタデータ整備、データ構造化を進めるべき
・ハッカソン実施後のフォローアップも重要である

●稲継座長
・DX 推進のために、「枠予算制度」、「法人カード導入」、全職員が利用できる「生成 AI 環境の整備」を検討してはどうか。

○意見交換

●生成 AI により、開発速度や業務効率が大きく向上しているとの意見があった。
　具体的な事例として、帰宅前や会議中に AI を起動しておき、後で結果を確認するなどの手法が紹介された。

●法人カード導入は、請求書や支払い資料のとりまとめ等の作業を大幅に削減でき、精算事務の効率化に有効との意見があった。

●生成 AI ハッカソンの開催提案について、生成 AI によるコーディングのスピード感を職員が体験することは、非常に有効との意見があった。

●進化のスピードが速い生成 AI の活用拡大に対応するため、機動的に利用できる予算制度の必要性について意見があった。
　→ 【事務局】他自治体事例も参考にしながら、今後の制度設計や実証を進めていきたいとの説明があった。

●データの構造化は、生成 AI が効率的に学習するためにも非常に重要であるとの意見があった。

●KPI 達成は良いことだが、年代等属性別に見ると状況が異なる可能性があることから、指標を見直し続ける評価の仕組みが重要であるとの意見があった。